

2022年度中間決算概要

株式会社東邦銀行

1. 経営成績（損益の状況）【連結】

- (1) 経常収益は、貸出金利息が減少したものの、有価証券売却益および日銀預け金利息の増加などにより、前年同期比7億79百万円増加し306億87百万円となりました。
- (2) 経常費用は、投資信託解約損および与信関係費用の増加などにより、前年同期比21億48百万円増加し266億98百万円となりました。
- (3) 経常利益は、前年同期比13億69百万円減少し39億88百万円となりました。
- (4) 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常費用の増加に伴い前年同期比12億1百万円減少し25億13百万円となりました。

【連結】

(単位：百万円)

	2021年9月期 (A)	2022年9月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	29,907	30,687	+779
経常利益	5,357	3,988	△1,369
親会社株主に帰属 する中間純利益	3,715	2,513	△1,201

【銀行単体】

(単位：百万円)

	2021年9月期 (A)	2022年9月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	25,893	26,857	+963
経常利益	4,809	3,817	△992
中間純利益	3,547	2,689	△857

2. 主要勘定の業績【銀行単体】（末残ベース）

- (1) 総預金（譲渡性預金含む）
個人預金・法人預金が引続き順調に推移し、前年同期比965億円増加し6兆1,017億円となりました。
- (2) 貸出金（含む私募債）
お客さまのニーズに幅広く積極的にお応えした結果、前年同期比612億円増加し、3兆8,642億円となりました。
- (3) 有価証券
海外金利上昇などマーケットの急激な変動への対応として回復の見込めない投資信託を解約するとともに政策保有株式の持合い解消を進める一方で、安定的な利息配当確保のため、国債・地方債・社債を増加させ、期末残高は前年同期比1,034億円増加し5,423億円となりました。

【主要勘定の業績】

(単位：億円)

	2021/9末	2022/3末	2022/9末	2021/9末増減(率)	2022/3末増減(率)
総預金 (譲渡性預金含む)	60,052	62,235	61,017	+965 (+1.6)	△1,217 (△2.0)
うち個人預金	35,479	35,995	36,578	+1,098	+583
うち法人預金	14,277	14,142	14,436	+159	+294
うち公金預金等	10,295	12,098	10,002	△292	△2,095
貸出金 (含む私募債)	38,029	37,436	38,642	+612 (+1.6)	+1,205 (+3.2)
私募債	694	674	623	△70	△50
個人向けローン	8,293	8,341	8,383	+90	+42
うち住宅ローン	7,747	7,807	7,864	+116	+57
有価証券	4,388	5,239	5,423	+1,034 (+23.6)	+183 (+3.5)

3. 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は単体で9.17%、連結で9.68%と引続き十分な水準を維持しております。

【銀行単体】

(単位：億円)

	2021/9末	2022/3末	2022/9末	2021/9末増減(率)	2022/3末増減(率)
自己資本比率	9.13%	9.13%	9.17%	+0.03%	+0.03%
自己資本	1,781	1,784	1,789	+8	+5
リスクアセット等	19,505	19,525	19,513	8	△11

【連結】

(単位：億円)

	2021/9末	2022/3末	2022/9末	2021/9末増減(率)	2022/3末増減(率)
自己資本比率	9.59%	9.66%	9.68%	+0.08%	+0.01%
自己資本	1,878	1,892	1,894	+16	+2
リスクアセット等	19,570	19,586	19,570	△0	△16

4. 金融再生法開示債権（正常債権除く）【銀行単体】

総与信に対する比率は1.32%と引続き極めて低い水準になっております。

【金融再生法開示債権（正常債権除く）】

(単位：億円)

	2021/9末	2022/3末	2022/9末	2021/9末増減(率)	2022/3末増減(率)
金融再生法開示債権	490	490	512	+21	+21
破産更生債権等	182	175	204	+21	+28
危険債権	249	246	246	△2	△0
要管理債権	58	68	61	+3	△6
総与信比	1.28%	1.30%	1.32%	+0.03%	+0.01%

5. 2023年度通期業績予想

2022年度通期の連結ベースでの業績予想につきましては、当中間期の業績等を踏まえ、下記のとおり修正し、経常収益59.2億円、経常利益7.8億円、親会社に帰属する当期純利益5.1億円を見込んでおります。

銀行単体の業績見通しにつきましては経常収益5.1億円、経常利益7.4億円、当期純利益5.2億円を見込んでおります。

【業績予想（連結）】

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減 (B-A)
経常収益	59,300	59,200	△100
経常利益	8,500	7,800	△700
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,500	5,100	△400

【業績予想（銀行単体）】

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減 (B-A)
経常収益	51,000	51,100	+100
経常利益	7,700	7,400	△300
当期純利益	5,300	5,200	△100

以上